

平成26年度学校評価結果分析と改善方策（保護者）

岩手県立宮古工業高等学校

1 回収率 82.8 % (192/232)

2 総評(全体の傾向)

- ・ 全体(番号1～7)については、昨年度よりほとんどがUPしている。本校全体をとらえて高い評価を得ていることになる。数名においては厳しい評価もあり、情報が行き届かず理解されていない部分もあると思われる。情報提供の工夫が必要である。
- ・ 授業(番号8～10)については、B評価で全体を通して低いのが、3点台に上昇した。分かる授業の工夫や改善が必要であり学習不審者への手厚い指導が必要とされる。各家庭からの協力と理解も必要である。
- ・ 特別活動(番号11～15)については、生徒達は日頃の学校行事や部活動を熱心に、意欲的に行っている。期待感が強く、今後も継続した指導を充実した生徒指導(番号16～21)については全て換算平均は3.0を超え、A判定が3つ増えた。生活の規律・ルール・マナーなど社会生活に通ずることであるので今後も今まで通りの指導が必要と思われる。
- ・ 進路指導(番号22～24)については換算平均点は3.0を超え、A判定2つ増えた。おおよそ十分という評価である。進路指導(出口指導)については、親御さんも気になるウエイトの大きい項目である。今後も継続したキャリア教育が必要である。
- ・ その他(番号25～32)について、PTA活動については厳しい評価である。一部の方々からは積極的な協力を得ているが全体から見れば活動の内容が見えてないと思われる。また、学校行事など参加0の人数は昨年度とほぼ同数。活動内容を情報として発信し理解に努めなければならない。

項目	番号	内 容	課 題	改 善 方 策 等
全体	1	学校の教育目標が説明されている。	A判定にアップ。十分・おおよそ十分を含めて91%(昨年88%)。理解していただいていると判断できる。	今後も情報発信を継続しつつ、新たな情報提供の工夫も必要である。
	2	先生は、熱心に生徒の教育活動を行っている。	A判定である。先生方の熱心な教育活動が家庭にも届いていると思われる。	普段の我々の教育行動が判断されるため、今後も継続して熱心な指導を心掛ける。
	3	先生は、生徒の悩みや相談に親身になって応じてくれている。	B判定。換算平均は昨年度より微増している。しかし、不十分と数値も10%程ある。信頼関係を得るには生徒に寄り添った地道な指導が必要である。	生徒のコミュニケーションを取ることでより信頼関係を築くことが出来、ひとつの改善策につながる。
	4	自分の子どもは、明るく生き生きと充実した学校生活を送っている。	A判定にアップ。不十分と回答している保護者も11%程いる。学校に対し不満をもった家庭もあると思われる。	不十分と思われる要因は何かを教師個々が細部にわたり探り、学校全体として考える。
	5	宮古工業高校に入学させてよかった。	A判定。高い評価が出ている。生徒の目標が達成できるように指導しなければならない。	今後は、卒業させて良かったに繋がるように入学時から計画的な指導が必要である。
	6	日課(授業の開始時間・終了時間等)は適当である。	A判定。96%と特に問題はないと考えられる。	日課には特に問題は無い。
	7	宮古工業高校には、他校にない特色がある。	A判定。実業高校としての特徴の理解が定着してきている。	更に工業高校として、他校にない特色を前面に出しアピールする必要がある。
授業	8	教材や教え方を工夫した、分かりやすい授業が多いと聞いている。	B判定であるが3.08と決して高くはないが微増。	生徒個々の能力に合った授業の工夫改善が必要である。
	9	学習の遅れがちな生徒にも親切に指導してくれると聞いている。	B判定。やや不十分・不十分が20% 15%に減少。評価も2.97 3.10増加した。	成績不振者への積極的な補修対応を行う。(個別指導の充実)
	10	生徒は、授業や補習によって十分な学力を身につけている。	B判定。16%の家庭でやや不十分と答えているが、前項同様に2.89 3.02に増加。基礎学力でのつまずきも要因で	小中のつまずきポイントの確認と学び直し。充実した個別指導。
特別活動等	11	修学旅行や校内球技大会等、学校行事で充実した有意義な体験ができています。	A判定。特に問題はないと考えられる。	生徒が主体的・自主的に取り組める行事を今後も継続する。
	12	性教育・薬物乱用防止講話など、命や人権を大切に教育が積極的に行われている。	B判定。ある程度はLHRや学年ごとの取り組みが評価された。中には実施していることすら知らない家庭もある。	今後も継続して行う。保護者参加型や保護者・地域に積極的な参加の呼びかけも必要。
	13	ゴミ拾いや老人ホーム訪問など、環境や福祉などに関するボランティア活動が活発に行われている。	B判定。昨年度より微増しA判定に近づいている。津軽石川原清掃やボランティア活動が理解されつつある。	課題研究、生徒会、ボランティア委員会など多方面での活動が期待される。
	14	部活動に熱心に取り組んでいる生徒が多く、活動は活発である。	B判定。昨年度より微増。多くの生徒はよく頑張っているが、わずかながら活動していない生徒もいる。	活動していない生徒への対応。ボランティアなどを含めて検討していくことも必要ではないか。
	15	部活動に係る施設・設備は十分である。	B判定。震災後に不便をかけている部活もある。20%がよく思っていない。徐々に用具や備品は充足しつつあ	老朽化したものを含めて継続的に申請、補充する
生徒指導	16	生活の規律(遅刻や服装、ルール・マナーなど)に関する指導が適切に行われている。	A判定。保護者の協力のもと生活規律が守られている。反面、自転車、カサの盗難について自由記述あり。指導体制の理解を求めると必要有り。	交通安全指導、マナーアップについて、保護者の理解と継続的説明と必要である。面談等でも機会を捉え説明する。
	17	生徒の健康や安全に関する指導が適切に行われている。	A判定にアップ。食育指導も各学年毎実施し、食生活・生活習慣等考えさせた。保護者への参加も促したい。	保護者対象の食育指導なども検討する。
	18	先生は、「良いことは良い、悪いことは悪い」ときちんと指導している。	A判定にアップ。保護者においては指導について理解されている。	今後も継続して指導する。
	19	宮古工業高校の生徒は、礼儀正しい生活をしている。	B判定。来校者・職員への挨拶等概ね良好である。	今後も継続して指導する。
	20	宮古工業高校の生徒は、服装・頭髪がきちんとしている。	A判定にアップ。数年前と比較するとだいぶ良好である。なかにはボタンをはずしたり、服装のだらしない生徒も数名いるが指導には素直に従う。	頭髪・服装については規定などを保護者に確実に伝えるようにすることで、理解を図る。
	21	宮古工業高校の生徒は、社会のルールや学校のルールを守っている。	B判定。バス乗車、自転車等クレームが減少。なお継続的に指導が必要である。	登下校時の指導。モラル・マナー等の継続した指導。
進路指導	22	学校は、進路に関する情報をよく提供してくれている。	A判定にアップ。93%、3年生だけではなく、1年生から進路について情報提供が必要である。	継続して進路情報の提供をしていく
	23	進路について考えさせる体験・講演等の機会を設けている。	A判定にアップ。各学年のLHRなどを利用し、進路指導に関わる講演・講座を開き早期の進路目標決定、達成に向け指導する。	今後も継続して進路関係の諸行事をアピールする
	24	将来の生き方や進路に関しての指導・面談が十分に行われている。	B判定。学年・科、また外部の協力を得て指導している。	生徒個々にあった進路指導を目指し、進路目標達成に向けたキャリア教育の充実に努める。
その他	25	学校は、保護者(親)と情報交換し、話し合う機会を設けている。	B判定。やや不十分と考えている保護者も多い。学年PTAへの出席率も高くはない。	話し合う機会を設けているが、話しやすい雰囲気が必要である。
	26	学校には、保護者(親)が学校や先生に相談しやすい雰囲気がある。	B判定。20%がやや不満に思っている。気楽に相談できる環境を整える必要がある。	生徒指導の場面だけではなく、ささいなことでも連絡を取ることで、相談しやすい雰囲気を作っておく必要がある。
	27	学校から家庭への連絡や情報提供はきめ細かい。	B判定。前項目同様に低い値であった。文書等が保護者に確実に届いていない場合もあるのではないかと。	封書に入れて渡す、郵送をするなど、保護者に文書などが確実に届く手段の検討。また、一斉送信メールを適宜に活用。
	28	宮古工業高校の保護者(親)は、PTA活動に協力的である。	B判定。全設問中一番評価が低い。PTA行事の出席率がそのまま結果として表れている。	学校任せにならないように協力依頼をする。
	29	学校の施設や設備は充実している。	B判定。89%、おおむね良好の評価だったが、さらに校内を見学する機会を設けること。学校理解につながる。	入学式等で積極的に施設見学を実施する。学校へ行く週間などの積極的アピール。
	30	教室、校舎、校庭の美化・清掃は行き届いている。	A判定にアップ。94%問題なし	公共物を大事にする指導を継続するとともに、職員の掃除監督の徹底。
	31	電話の対応は適切である。	A判定にアップ。さらに丁寧な対応を心がける。	普段から職員が意識し、苦情対応も含めて丁寧な対応を必要とする。
32	今年度、PTA活動や学校行事などで学校に行った回数は何回ですか。	B判定。1回が最も多い。三者面談だけの来校が多いのではないかと。	進路情報、生徒の活動状況を伝え、学校に関心もってもらおう。	